

活セン ニュース

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806

市民活動応援



市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体など、あなたのセンターです。皆さんにとって使いやすいセンターを目指しています。ご意見、ご要望をどんどんお寄せください。

2年ぶりの開催!!

2022 スマイルフェスタ in いなべ

**日時 6月18日(土)活動発表
19日(日)舞台発表**

場所 北勢市民会館さくらホール

テーマ 「コロナで手をつなげない ハグもできない でも心はいつもみつがいい」

※いなべ市青少年育成市民会議 令和3年度「ふれあう心のメッセージ」優秀賞受賞作品より

参加申込みはお早めをお願いします。

※登録団体には先に詳細をお送りしました。4月11日(月)締切

2022年度活動方針

自分たちが暮らす地域が少しでも住みよくなるための課題を見つけ、そのためには何をしたらいいか、自分たちには何ができるかを考えて活動してきた市民活動は、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能なまちづくり」を実現するために進むべき道を示したSDGsと共通しています。

特別な何かをするのではなく、いつもの生活や市民活動を行うなかでSDGsとのつながりを常に考え行動する。

本年は、活動団体や参加者にそういった意識を持ってもらうための取組に注力します。

コーヒー寄付金 2021 年度助成団体決定！



いなべ市市民活動センターの事務所に設置したコーヒーマシンをご利用いただき、市民活動団体を応援しようと始まった「コーヒー寄付金」。今年で 6 回目を迎え、たくさんの団体に応募していただきました。審査の結果、次の 2 団体に決定し、先日の理事会の前に、授与式が行われました。

いなべフェアトレードタウン

発展途上国の生産者を守るため、SDGs と深く関わるフェアトレードの理念をいなべ市に広めたいと活動する。2019 年、いなべ市をフェアトレードタウン認定へ尽力。協力店舗のタウンマップ作成、スタンプラリーなどを実施。

助成金の使途▶ 5月のフェアトレード月間に向け、チラシ作成や書籍、展示用備品を購入したい。



いなべ人権まちづくりを進める会

部落、障がい者、外国人などあらゆる差別、いじめ、虐待のない人権文化あふれるまちづくりを目指す。

助成金の使途▶ シトラスリボンプロジェクトの推進。コロナ禍でうまれた差別や偏見をなくすために、リボンを手作りし啓発活動を行ないたい。



ボラワングランプリ結果発表！！

～PR 動画で、人の心と賞金をつかむのはどの団体だ?!～

いなべ市で活動する団体やボランティアグループが、2 分以内の動画で活動紹介。

対象期間中、再生回数の多かった上位 3 団体は以下のとおりです。

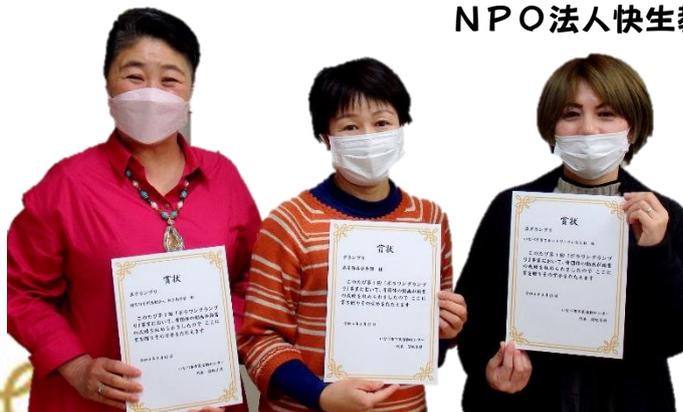
グランプリ (1 万円)

準グランプリ (5 千円)

桑名弦楽合奏団 (再生回数 865 回)

いなべ子育てネットワークいなこね (再生回数 544 回)

NPO 法人快生教会 (再生回数 467 回)



惜しくも賞を逃した他の皆さんの作品も力作ぞろいで、大変盛り上げていただきました。ご参加、ご協力ありがとうございました。来年度も企画したいと思います。

市民講座

3月20日(日)、大安公民館大ホールで「食の安全を守る人々」の上映&講演会を行ないました。三重県ではいなべ市が初めてということで、いなべ近隣の方はもちろん、愛知や関西からと、約160名にお越しいただき、関心の高さが伺えました。メディアでは伝えられない食の裏側に迫るドキュメンタリーをご覧ください、その怖さ、大切さを感じてもらいました。

いなべ市は2020年に「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」の認定を受けています。「持続可能な農業の推進」、「すべての人々の健康的な生活の確保」、「つくる責任つかう責任」といったゴールを市民のみなさんにも意識していただくため、今回の講演会を企画したものです。

上映のあと、この映画をプロデュースした弁護士で、元農林水産大臣の山田正彦氏さんの講演会を行ないました。残留農薬の基準値の緩和、農薬が与える影響など具体的な例に加え、私たちの子孫、そして地球の未来を守るために、今できることを訴えてくださいました。ひとりひとり、あるいは市民活動団体の行動が、市や国を動かすことになる、と。後半の質疑応答でも丁寧にお答えいただきました。

最後に、このドキュメンタリーに登場するゼン・ハニーカットさんから届いたビデオレターを上映しました。野外保育の会「なないろのわ」のスタッフの働きかけで、いなべ市民に向けて特別に作っていただいたものです。子どもたちを守るため、悪質な嫌がらせを受けても戦い抜いたゼンさん。「遺伝子組み換え作物や有害な化学物質の流通に NO と言ってください。消費者が安全なものを求め続ければ、生産者も変わります。あきらめないで。」という強いメッセージが込められていました。

参加者からは「上映会の内容は難しいものでしたが、用意された資料など、熱意が伝わりました」、「とても大切なことなので PTA や地域全体に広めたい」、「韓国や日本の一部でも実施されているオーガニック給食をいなべでも実現させたい」、「もっとたくさんの方が知るべき、もう一度開催してほしい」といった声がありました。



主催 いなべ市市民活動センター
共催 なないろのわ



食の安全
を守る人々

麻の葉クラブ 作品展

毎年4月に、「おねじゃの里まつり」を開催していましたが、コロナ禍で中止を余儀なくされてきました。今年は密にならないように員弁老人福祉センターで3月17~19日の3日間、作品展を行いました。手作りされた干支の飾りやタペストリーがズラリ。見に来てくれるお客さんとお話したり、会場でもメンバーが細かい布細工をされている様子に見入っていました。



【ご案内】 はじめてのSDGs 講座

日時：4月20日(水) 13:30~16:00

場所：員弁老人福祉センター2階集会室

定員：40名

料金：無料

いなべ市政策課のSDGs担当者に講師をしていただきます。

難しい横文字も、カードで楽しく学べます。私たちの未来のために、できることはたくさんあります。

申込：QRコードまたは電話でお申し込みください。

いなべ市市民活動センター ☎ 0594-74-5806



自分たちの団体はSDGsのどの目標を目指し、どんな取り組みに当てはまるのか、改めて認識していただくキッカケになります。



いなべ市SDGs推進パートナーに認定されました



NPO 法人いなべ市民クラブ



いなべ市市民活動センター



いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁庁舎内

TEL (0594) 74-5806 (FAXはありません)

E-mail i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp

HP <https://inabeshiminkatu.jimdofree.com>

委託事業運営者 NPO 法人いなべ市民クラブ

